



# エルム



vol.62

発行日：令和元年5月31日

編集・発行／社会医療法人 北楡会 札幌北楡病院 広報委員会 責任者／太田 秀一

## HOKUYU INFORMATION

### 平成から令和へ

皆様こんにちは。この度は当院の広報誌「エルム」をお読み下さり誠に有難うございます。いよいよ平成の世が終わり、令和の時代になりますが、この時代の節目に生きていることを感慨深く思います。当院は昭和60年1月に開院しましたので、これで3つの元号に亘って歴史を刻むことになります。昭和の時代は創立期であり、運営が安定するまで、無我夢中の時期がありました。平成の時代は徐々に規模を拡大し、発展させることができた時期でもありました。この間、一貫して「患者さんにとって最適な医療を行う」を基本理念にして、患者さんの権利や安全を保障し、その上で高度で先進的な医療を提供するという方針で運営して参りました。

思えば、平成の時代には戦争がなかったものの、大規模災害の多い時代がありました。令和の時代は平穏であって欲しいのですが、最近の気候変動を考えますと、まだ災害が発生すると考えた方が自然でしょう。現在、災害に強い病院を作り、万一の際には入院患者さんの安全確保のみならず、地域住民の皆様方の支援もできるようにしたいと思っています。

また、新年度にあたり医療機能のさらなる充実を図るために、診療システムの見直しや、医療機器の高度化・更新を計画しています。具体的に1例を挙げますと、現在ある0.5T(テスラ)のMRI(核磁気共鳴画像診断装置)を3.0Tの機種に更新します。検査時間の短縮が可能で、画像の解像度が格段に改善します。さらには、まだ具体的にはお示しいたしませんが、わが国初のがん治療装置の導入も検討中です。

新しい元号「令和」の始まりにあたり、患者さんの安全をしっかりと確保した上で、地域の皆様に一層親しまれ信頼される病院を目指して、引き続き身近な病気から難しい疾患まで幅広く対応したいと思います。「そうだ、北楡に行ってみよう。」と思って頂けるために皆様のご意見やご批判を頂戴できれば幸いです。これからも宜しくお願ひ申し上げます。

院長 目黒 順一

#### ◆病院紹介シリーズ

- ◆安全な輸血療法をめざして
- ◆各科 医師のごあいさつ
- ◆新採用医師の紹介
- ◆チェロ＆ピアノコンサート
- ◆自動販売機について

#### 札幌北楡病院 基本方針

1. 患者さんに公正な医療を提供します。
2. 患者さんの権利を尊重し、分かりやすい医療を行います。
3. 患者さんの安全を保障し、快適で安心して治療に専念できる場を提供します。
4. 高度医療を積極的に推し進めます。



## 安全な輸血療法をめざして

### 輸血とは？

私たち人間の血液は赤血球・白血球・血小板などの細胞成分と、それ以外の液体成分である血漿(けっしょう)から成り立っています。これらのうち、必要な成分を必要な量だけ、静脈内へ点滴して補充するのが輸血です。

大きな手術を受ける時や、血液の病気にかかった時、がんの治療をする時など、輸血は必要不可欠です。医学の進歩により、昔と比べてとても安全に輸血を受けられるようになりました。

今回は、輸血の歴史を簡単に振り返りつつ、安全な輸血を実施するために行われている取り組みや対策をお話します。



### 輸血の歴史

輸血は今までこそ人への同種輸血が当たり前となっていますが、17世紀はまだそのような考えはなく、ヨーロッパでは仔羊の血液を人に輸血したという驚くべき記録が残っています。しかしその成績は悪かった為、国々は輸血という行為そのものを禁止しました。世界で初めて輸血に成功したのは、19世紀になってからです。方法は、受血者(患者さん)と供血者(ドナー)の血管

を切開し、直接チューブで繋ぐ「直接輸血法」というものでした。

この方法には大きな問題があります。血液は、血管外に出ると固まる働き(凝固作用)がある事です。当時は、血液の凝固を防ぐ方法はありませんでした。また、ABO血液型も発見されていない時代です。ABO血液型が合わない血液を輸血すると、血管内で急速に赤血球が壊され、最悪の場合、死に至ります。このほか、不潔な器具・操作による細菌感染など、さまざまな問題も重なり、輸血が原因で死亡するケースも多かったようです。

その後、ABO血液型や抗凝固作用のあるクエン酸が発見され、血液を保存し、血液型を検査して安全に輸血できるようになりましたが、輸血によって感染症が伝染する事が世界中で問題となりました。輸血を受けた方に肝炎ウイルスによる肝炎が多発したのです。これは日本も同様で、民間の血液銀行による売血制度に問題がありました。この問題を解決するために、1964年、民間の血液銀行を廃止し、日本赤十字社の血液センターによる献血のみで血液製剤を製造することが閣議決定されました。

### 日本赤十字社 血液センターでの安全対策

現在、血液センターは輸血用の血液製剤を一括して製造・販売しています。その役割は、「安全で品質の高い血液製剤を、不足する事なく、安定的に供給すること」です。

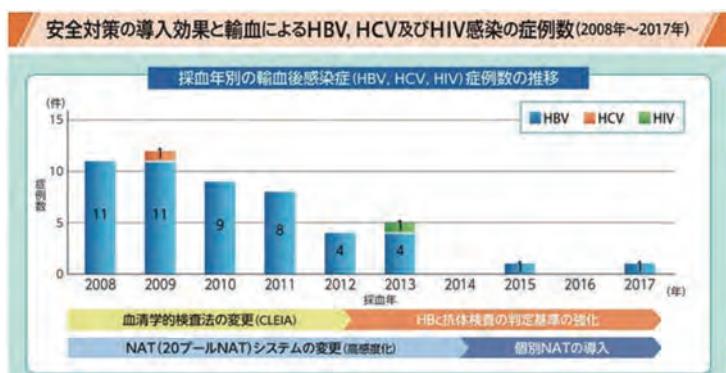


献血した血液が医療機関に届けられるまでの大きな流れは、「問診→採血→検査→保管→運搬」となりますが、どの工程においても厳格な管理体制がとられています。

感染症対策は飛躍的に進歩しており、献血時の問診や検査技術の向上により、現在の輸血後感染症の年間発生件数は数件にとどまっています。しかし、どんなに高精度の検査法を導入しても、ウイルスが検出できない期間(ウインドウ・ピリオド)を完全になくすことはできません。血液センターでは「検査目的でない、責任ある献血を」と呼びかけています。

## 医療機関での安全対策

すべての医療機関は、安全で適正な輸血療法を行うために、厚生労働省が策定したガイドラインを遵守し、各医療機関に沿った管理体制を作る必要があります。実際に患者さんに輸血されるまでには、様々な安全対策が必要ですが、今回は輸血前に行う検査についてお話しします。昔はABO血液型しか検査していませんでしたが、現在は、様々な血液型が発見され、必要な検査も増えています。



### ①ABO・Rh血液型検査

2014年の時点で、赤血球上の血液型は342種類あるといわれています。輸血の際にこれら全ての血液型を合わせるのは不可能ですが、非常に重要なABO血液型と、Rh血液型と呼ばれる血液型に関しては、原則、同じ血液型の血液製剤を輸血する事になっています。



### ②不規則抗体検査・交差適合試験

輸血や妊娠で、体の中に自分とは異なる血液が入ると、ABO以外の血液型に反応する抗体を作る事があり、これを不規則抗体と呼びます。

輸血の際には、患者さんの血液に不規則抗体がないか、事前に検査します。また、輸血前の最終検査として、患者さんの血液と血液製剤との反応性を検査する、交差適合試験を実施し、適合となったものを輸血します。

## 世界的な取り組み

様々な安全対策をもってしても、新しく発見された感染症を含めた輸血後感染症や、他の副作用のリスクはゼロではありません。輸血により健康状態が損なわれた場合には救済制度がありますが、輸血を受ける方々にとっては、リスクをゼロにして欲しい、というのが願いかと思います。これらの解決策になり得るのが、iPS細胞由来の人工血液製剤です。現在、精力的に開発が進められています。実用化はまだ先になりそうですが、いつか実現する事を期待し、当院ではこれからも安全な輸血療法を心掛けていきたいと考えています。

# 各科 医師のごあいさつ



## 外 科

服部 優宏

外科は米川元樹、目黒順一、久木田和丘、小野寺一彦、堀江卓、高橋宏明、服部優宏、後藤順一、谷山宣之、佐藤正法、木井修平の11名です。透析・血管外科チームと消化器外科チームに分かれて診療しています。透析関連ではBlood Accessトラブル、維持透析、アフェレーシスに幅広く対応し道内の多くの施設からの信頼を得てあります。また、消化器外科は内視鏡外科を重点的に行っており、現在、内視鏡外科学会技術認定医が2名あります。一時停滞していたダヴィンチによるロボット支援下手術も保険収載が増え、2019年3月27日には5年ぶりに再開いたしました。今後も症例を重ねていきます。2018年の外科の手術件数は約1240例で、全麻手術は256例です。他科の先生方から、多数の症例をご紹介いただき大変感謝しております。しかし、諸般の事情で皆様のご期待に十分な対応ができないこともあります。恐縮しております。困難な状況でも、標準レベル以上の臨床、学会活動、教育に務めて参ります。今後ともよろしくお願ひいたします。

## 肛門外科

小野寺 一彦

今年も特に診療体制に変わりはなく手術傾向も同様で推移しています。

肛門疾患では便秘絡みの患者さんが多く、中には主に便秘を主訴に肛門外科を初診される方もおられます。もちろん用手摘便が不可能な糞便塞栓(ちょうどラムネのビー玉のように直腸に存在)などはタイムリーです。それは一見溢流性便失禁の状態です。しかし既に他科に通院して下剤などを処方されている方の受診も多く、精神・神経・脊椎疾患や、向精神薬・麻薬・頻尿治療薬などが併用されています。あいにく原疾患が診断されてあらずに当科を初診してしまうとこちらも大変で、結局各科や他院にお世話になります。さらに大変なのは認知症、一人住まいの高齢者、老老介護、施設で寝たきりの排便障害を伴う肛門疾患患者です。的確な外来治療も手術へ持っていく過程にも難しい問題があります。令和も各科、外来、病棟、術場にお世話になります。すべては快適な排便のために、宜しく。

## 腎臓移植外科・泌尿器科

三浦 正義

当科では泌尿器科全般と腎移植の診療を行ってあります。特に低侵襲手術に力を入れてあり、通常の腹腔鏡手術に加え、腎、副腎の単孔式腹腔鏡手術を積極的に行ってあります。また、腎移植ドナーの腎摘出術においては5年前から経膣的腹腔鏡手術を全国唯一導入してあり、腹部にほとんど傷のない手術を取り組んでいます。手術支援ロボットのダヴィンチも数年前から稼働しており、前立腺癌に対する標準手術となってあります。悪性リンパ腫疑いの方に対する単孔式腹腔鏡下リンパ節生検手術も行っており、全国的にも施行する施設は数少ないですが、化学療法を控えた患者の早い術後回復に貢献しています。道内7施設ある腎移植施設の中で2、3番目の手術件数を施行しており、栄養管理、理学療法も含めた包括的な長期管理を行い、高い長期成績を維持しております。新年度もこれまで通りの2名体制で診療を行いますのでよろしくお願ひいたします。

## 血液内科

太田 秀一

新年度を迎えてご挨拶と血液内科のご紹介をさせていただきます。まず、本年早々に日本を代表するトップスイマーの白血病発症というショッキングな報道があり、血液疾患やその治療法について全国的に関心が高まっているように思います。そんな中、北楡血液内科は札幌市内に留まることなく全北海道および全国的にも血液病診療の中心的役割を担ってきました。開院以来、当科は着実に患者数を増やし、昨年度には入院患者数の更なる増加とともに骨髄移植などの造血細胞移植数も過去最高を記録するなど、血液病診療患者数において全道1位を維持しています。一方、医療の進歩は著しく、血液疾患に対する新規治療薬や免疫療法が次々と開発されています。そのため、当科は最新知見を常に収集するとともに論文および学会での発表を多数発信しつつ、全ての患者さんに最適・最良の治療を提供しております。また、豊富な経験と知識を持つベテラン血液病専門医と若手血液内科専攻医がチームを組み、最先端医療を提供しながらも患者さんに分かりやすく丁寧に対応して参ります。

さて、新年度となり若手を中心に新旧医師3名の交代があり皆様にはご心配ご迷惑をお掛けしましたことをお詫び申し上げます。なお、新たに着任した若手医師3名は北海道大学血液内科の関連施設で充実した研修を終えた精鋭ばかりです。必ずや皆様のご期待に応えるものと確信いたしております。これからもこれまで以上にやる気に満ち溢れる北楡血液内科を宜しくお願い致します。

## 消化器内科

片桐 雅樹

消化器内科は、消化管疾患、肝疾患、胆膵疾患を担当しています。

主な疾患は、逆流性食道炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、炎症性腸疾患、機能性胃腸症、胃癌、食道癌、大腸癌などの消化管疾患、急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、肝臓癌などの肝疾患、胆石症、総胆管結石、胆囊炎、胆囊腺筋腫症、急性膵炎、慢性膵炎、胆管癌、胆囊癌、膵臓癌などの胆膵疾患です。

急性疾患に対応しており、出血性胃十二指腸潰瘍、結腸憩室出血、胆管炎などに対して、内視鏡治療を随時行っています。

それに加え、早期胃癌に対しての内視鏡的粘膜下層切開剥離術、手術不能な胃癌・大腸癌・胆道癌・膵癌に対する化学療法、炎症性腸疾患に対する血球除去療法も行っています。

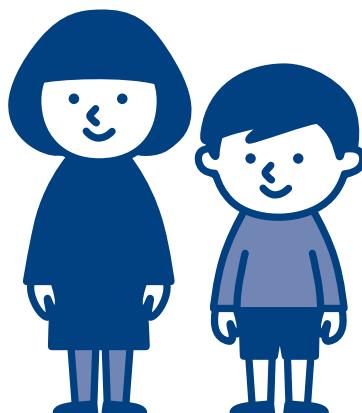
また外科治療の適応疾患については外科と密に連携しています。

今年度は3名の異動があり、片桐雅樹、高野真寿、小笠真理子、工藤大樹、得地祐匡、横山大輔の6名で診療にあたっています。日本消化器病学会専門医4名、日本消化器内視鏡学会専門医3名、日本肝臓学会専門医3名で、質の高い医療を目指しています。

## 小児思春期科

小林 良二

平成31年3月いっぱい佐野弘純医長が開業のため退職され、4月から中野貴明医員が、5月から柳 将人医員が着任し、今までより一名多い態勢にて診療を行います。中野貴明医員は手稲済仁会病院から後期研修医として6ヶ月間という短期間の赴任となります。一方、柳 将人医員は埼玉県立小児医療センター血液腫瘍科にて研鑽を積まれての赴任となりますので、即戦力として期待されます。診療内容は従来と変化なく、18歳までの主に血液腫瘍性疾患を中心に診療を行って参ります。若い先生が加わることにより、診療のみならず学術活動でのますますの活発化が期待されます。どうぞよろしくお願ひいたします。



## 整形外科

高橋 修司

当科は常勤医2人、非常勤医1人の体制で診療を行っています。

外来では一般整形外科の診療を行います。手術は主に変形性関節症に対する人工関節置換術と、高齢者の骨折に対して行っています。人工関節置換術は手術法の進歩により、術後の臥床期間・リハビリ入院期間は短縮され、患者さんの負担は非常に少なくなっています。社会問題にもなっている高齢者の骨折は、内科的疾患や骨粗鬆症を有している患者さんが多く、治療には難渋しています。他科の協力を得て適応があれば出来るだけ早期に、手術的療法を行うよう心がけています。整形外科でも内視鏡手術が行われるようになっています。特に肩関節・膝関節に多く行われています。適応があれば関連病院を紹介しますのでご相談下さい。

## 麻酔科・緩和・ペインクリニック科

沼澤 理絵

麻酔科と緩和・ペインクリニックを担当しています。全身麻酔で行う手術は消化器、呼吸器、腎泌尿器、整形外科、骨髄採取など多岐に渡ります。患者さんが安心して手術を受けられますよう、手術前には麻酔方法や合併症について説明を行っています。苦痛なく安全に手術が行われますよう、外科医師や看護師、臨床工学技士とチームを組んで診療にあたっています。

麻酔の技術は救急集中治療、ペインクリニック(痛みの治療)、緩和ケアと幅広い領域で生かされています。特に緩和ケアの重要性は益々高まっています。当院には緩和ケアを提供するシステムとしまして、緩和ケアチームと緩和ケア病棟があります。痛みに限らず、辛い症状はすべて緩和ケアの対象になりますので、がん相談支援センターを通して気軽にご相談ください。



# 新採用医師の紹介



## 辞令交付式の様子



外科

木井 修平

今年の春より北楡病院に赴任いたしました外科の木井修平と申します。出身は札幌で出身大学は北海道大学です。大学を卒業してからは苫小牧で2年間の初期研修を行い、その後は北海道大学、釧路労災病院、網走厚生病院、室蘭日鋼記念病院に1年ずつ勤務し、その後は今年の春まで北海道大学の大学院で研究を3年間行なっていました。北楡病院で勤務してまだあまり時間はたっておりませんが、北楡病院では消化器外科、肛門外科、透析治療など他施設では学べないようなことも多くあり、有意義な毎日を送っています。

まだまだ不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけすることが多々あるかと思いますが、皆様のお役に立てるよう尽力していく所存ですので、よろしくお願ひいたします。



血液内科

木村 弘幸

はじめまして。今年の4月より札幌北楡病院に勤務させていただいてあります、血液内科の木村弘幸と申します。出身は江別市です。江別市は札幌市に隣接しており、小麦と煉瓦餅が有名です。旭川赤十字病院、市立旭川病院、北見赤十字病院で血液内科を中心とした内科の勤務経験を経てから、この4月から北楡病院で働いています。趣味は史跡巡りとドライブで、長期休暇の際には各地を旅行しております。見た目からラグビーや柔道経験者と思われがちですが、学生時代は文化系の部活動を行ってきました。

札幌北楡病院は造血幹細胞移植をはじめ、血液内科の医療を盛んに行っている病院であり、以前より勤務したいと思っていたところで、今回は希望がかなった形です。大変忙しい毎日ではありますが、先輩医師、コメディカルはじめ周囲の方々の指導と御助力を得ながら日々精進しております。

まだまだ至らぬ点も多々あるかとは思いますが、患者様のため、血液疾患医療の向上のため、全身全霊努力してまいりますので、よろしくお願ひいたします。



血液内科

須藤 啓斗

今年度から血液内科に赴任しました須藤啓斗(すとうけいと)と申します。もともと札幌市出身で、札幌南高校卒業後、大学と初期研修を旭川で過ごしました。昨年度までは釧路労災病院で一般内科として勤務し、血液疾患以外も含めた内科疾患を幅広く扱ってきました。この度、全国的にも有数の症例数を誇る札幌北楡病院で勤務することができ非常に嬉しく思っています。

私自身は医師として患者様との対話を大切にし、提供しうる最善の治療を行うことを基本姿勢として診療して参りました。症状のことや治療のことなど、何か気になることがある場合はどんな些細なことでも構いませんので遠慮なくお申し付けください。当院に赴任してからまだ日も浅く、都市部と地域で求められる医療のギャップ、病院のシステムなど戸惑うことが多い毎日ですが、基本姿勢を忘れずに、日々努力して参りたいと思います。ご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



血液内科

宮島 徹

4月よりお世話になっております、宮島 徹と申します。札幌市生まれで、北嶺高校・北海道大学を卒業後、千葉県鴨川市の亀田総合病院で2年間研修し現在に至ります。鴨川市は海が非常に綺麗で魚が美味しい自然豊かな場所で住心地が良かったです、久しぶりに馴染み深い札幌に戻り生活ができ嬉しく思います。趣味はピアノやギターを弾くこと、将棋、テニスです。以前の病院では院内のクリスマスコンサートを開き、改めて音楽が楽しいと思うと同時に、音楽の持つ力を感じることができました。

札幌北楡病院は在学中に学生として2週間研修させて頂いた思い入れ深い病院であり、その際に感じたことが血液内科を目指すきっかけとなった原点の場所です。また、病院職員の皆さまが話しやすく明るく、患者さんにより良く過ごして頂けるよう熱心なことを学生時代に感じたことを思い出します。未熟者ではございますが少しでもお力になれるよう誠心誠意努力いたしますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



消化器内科

工藤 大樹

はじめまして。4月からこちらでお世話になっております、消化器内科の工藤と申します。青森県生まれで、北大を卒業し、医師免許を頂いてから今年で15年目となります。青森生まれですが、親が転勤族だったため、小中と関東、東北地方を転々していましたので、よくなまってくれとリクエストされますが、ご期待には添えませんのでご容赦ください。

こちらに勤務する前は大学病院と、北海道の地方都市(帯広、北見、稚内、釧路、函館)で勤務してきました。5年ぶりの札幌勤務で、人・車の多さと、気温の低さを日々実感しつつ、不慣れな電子カルテシステムに悪戦苦闘の日々を送っています。

当院は透析患者、骨髄移植、腎移植患者といった高度医療を必要とする患者さんを多数診療しています。そのため、内視鏡治療、外科的治療もより慎重な対応を求められ、毎日緊張の中仕事をしております。

さて、話は変わって、今年度の抱負ですが、仕事を充実させるのはもちろん、個人的には「減量」を今年こそなし得よう志しています。しかし、研修医のころから減量を試みては失敗を繰り返しており、そろそろ本当に糖尿病が心配になる今日この頃なので、40歳を前にして今年こそはダイエットするぞと決意していますが、悩みは病院の昼食が結構美味しいことです。

新しい元号になった今年、この病院で医師としてさらに成長できればと考えております。何卒よろしくお願ひします。



消化器内科

得地 祐匡

4月より消化器内科医として赴任いたしました得地祐匡と申します。今までには消化器内科や一般内科として、北見や網走等地方の中核病院にて勤務をさせて頂き、幅広くたくさんの疾患の診療を経験させて頂きました。今回この北楡病院という、専門的かつ最先端の診療を行っている病院で勤務できることとなり大変うれしく思います。外来診療や、内視鏡検査、治療等を通して、通院されている患者様の健康的な生活の一助となれますよう努めてまいりますのでどうぞよろしくおねがいいたします。



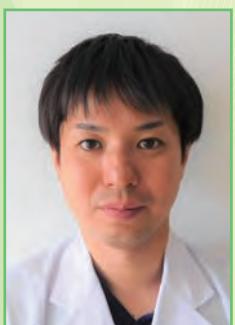
消化器内科

## 横山 大輔

はじめまして、この度北楡病院消化器内科に赴任させていただくこととなりました横山大輔です。平成29年3月に埼玉医科大学を卒業し、北海道大学病院で1年、苫小牧王子総合病院で1年間ずつ研修を行い、北海道大学第三内科に入局しました。出身は苫小牧市で中高大学と卓球を行っておりましたが、卒業してからはめっきりと運動する機会がへりこのままではまずいため、なにか新しく運動を始めようかと考えてあります。

本年度より専門医として第一歩を踏み出した駆け出しの消化器内科医ですが、研修医とは違い、主治医として診療を行うようになって、疾患や治療のことから心地よいの当て方、手紙の書き方などまで勉強すべきことが多く、自分の医師としての未熟さと責任の重さを痛感しています。

不勉強な私に対しても暖かくご指導いただき、本当に感謝に堪えないとともに、早く一人前になり先生方と肩を並べて診療が行えるよう、勉強を怠らず精進していきたいと思ってあります。足りないことだらけで先生方に多々ご心配をおかけいたしますが、少しでも早く一人前になれよう頑張りますので、ご指導・ご鞭撻のほどこれからも何卒宜しくお願い致します。



小児思春期科

## 柳 将人

5月から赴任しております、小児思春期科の柳将人と申します。

道東の津別町、札幌市、旭川市と北海道育ちです。旭川医科大学を卒業後に卒後3年目から約8年間埼玉県で小児診療の勉強をし、久々に地元へ戻ることとなりました。学生時代は野球部に所属し、スポーツ全般の観戦が楽しみの1つです。

一般小児診療、小児血液・がん領域いずれも、小林良二先生をはじめとした小児思春期科の諸先生方・関係スタッフにご指導いただきながら数週間が過ぎましたが、皆様がとても親切でありがたく感じる毎日です。地元のこどもたちの力になりたいという想いがあり、今回北楡病院で勤務する機会を与えていただけたことに感謝申し上げるとともに、早く皆様のお力になれるよう精進したいと思います。



小児思春期科

## 中野 貴明

はじめまして。現在小児科専攻医2年目(医者4年目)の中野貴明です。

生まれも育ちも新潟県新潟市で、新潟大学医学部を卒業しましたが、大学の先輩の勧めもあり札幌市の手稲済仁会病院で初期研修を開始しました。その後、済仁会病院の小児科専攻医プログラムに入り、プログラムの一環として、札幌北楡病院小児思春期科に今年度の4月から半年間お世話になってあります。

趣味は小学校から始めたサッカーで、今でも月2~3回はフットサルをしています。

僕の地元の新潟県は、スキー、温泉、お米、海鮮、日本酒、そしてサッカーチームのアルビレックスなどが有名ですが、皆さんご存知でしょうか。

ただ、北海道に来てからの4年間で、新潟に勝るとも劣らない脂の乗った海鮮やパウダースノーを経験してしまい、少し焦りが出ています。北海道の温泉も、朝里川温泉、定山渓、小金湯くらいしか行けていませんが、どれもなかなかいい温泉でした。ぐぬぬ。

新潟県は、こしひかりを始めとしたおいしいお米もあり、日本最長の信濃川から流れる豊富な水もあり、日本酒造りに適しているんです。また、新潟県は日本で一番蔵元が多いそうです。僕も地元の新潟に帰省する時は、日本酒を買って北海道に持ち帰ってます。

なんだか僕よりも新潟県の紹介で文字数が達してしまいました。

最後に、患者さんのために丁寧に一生懸命働きますので、これからどうぞよろしくお願いいたします。

# 外来診察担当一覧

午前

午後

(令和元年5月1日現在)

	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	
内科 血液内科	小笠原 木村 太田 皆内	小林 今村 高橋	今山 重松 小林	村川 岡田 須藤 [S0外来] 小林 (15:00~16:00) (完全予約制)	岩崎 田島 内重 松	小林 小笠原 皆内 重松	今村 高宮 橋島	小林 木皆 田内 崎荒	木村 内川 皆山 荒	岡田 小高宮 林橋島	今重 須藤	交代医師
消化器内科	片桐 小笛	横山	工藤 得地	高野	小笛	工藤 片桐 [肝専門外来] 須田 (13:30~14:30)	高野 小笛	片桐	片桐 横山	得地 小笛 (15:00まで)	交代医師	
腎臓内科								山村				
糖尿病代謝内科					※1澤村		※1澤村		澤村			
循環器内科					交代医師		交代医師					
外科	米川 (隔週) 後藤	目黒	服部 (隔週) 木井	佐藤/木井 (隔週交代) 久木田	目黒 服部 [フットケア外来] (13:30~16:00) (完全予約制)	堀江 谷山	堀江 高橋	小野寺	久木田 佐藤	堀江	交代医師	
肛門外科		小野寺	宮下	山内	宮下	山内	小野寺	宮下	山内	交代医師		
腎臓移植外科 泌尿器科	三浦(9:30~) (原則予約診療)				東山		三浦(9:30~) (原則予約診療)	東山				
整形外科	東山		東		高橋		東	高橋				
小児思春期科	小林(邦) 小林(良)	小林(邦) 堀	小林(邦) 鈴木	中野 [アレルギー外来] 小林(邦)	小林(邦) 柳	大鈴 島木	【血液外来】 小林(良) (完全予約制)	松島 小林(良)	柳 [血液外来] ※2小林(良) (完全予約制)		交代医師	
スリーブ外来			高橋									
緩和・ペインクリニック (完全予約制)					沼澤							
禁煙外来 (完全予約制)		三浦										
歯科 (完全予約制)	加藤		加藤/大畠	加藤		加藤/北大医師	加藤	加藤	加藤	加藤		

免疫細胞療法 (完全予約制)	小笠原	小笠原	小笠原	小笠原 太田	小笠原	小笠原	小笠原	小笠原
-------------------	-----	-----	-----	-----------	-----	-----	-----	-----

◎免疫細胞療法専用予約電話：0120-75-5706

免疫細胞療法は保険外診療のため、保険診療との併用はできません。ご希望される方は事務員にお声掛けをお願いいたします。

※1 糖尿病代謝内科：第3水曜日・第3木曜日は休診となります。ご注意ください。

※2 金曜日午後的小児思春期科小林良二医師は「長期フォローアップ外来」「セカンドオピニオン外来」も併せて担当しております。

◇ 都合により代診・休診となる場合がございますので事前にご確認をお願いします。

## 外来予約 電話受付

【平日のみ】午前9時00分～12時00分／午後13時30分～16時00分

予約専用電話 TEL 011-865-0201

注：歯科の予約は011-865-0111(病院代表電話です)

- 予約の際に受診科、氏名、生年月日をお知らせください。
- 日曜日、祝日は診療をしていません。
- 土曜日は予約診療を行っていません。
- 予約がなくても診察を受けることができます。
- 診療の際に、前後の患者さんの状態で、多少時刻が変わることがあります。



# イベントレポート



## 3月8日(金) チェロ&ピアノコンサート

3月8日当院講堂において、チェロとピアノのコンサートが行われました。

今回の演奏者はプロとして活躍されている向井航さん(チェロ)と平沼有梨さん(ピアノ)でした。

多くの方々が足を運んでくださり、澄んだピアノの音とチェロの生演奏を聴いてステキな時間を過ごしました。

プロの生演奏はとても素晴らしい音色で幸せな体験をさせていただきました。

今後もこのようなイベントを開催していきたいと思います。



## INFORMATION

この度、南棟1階ギャラリーに伊藤園の自動販売機を設置いたしました。

この自動販売機の売上の一一部はNPO法人 日本小児がん研究グループを通じて子ども達のためのより有効な治療・研究に役立てられます。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## 編集後記

いつも広報誌エルムをご覧いただきありがとうございます。

この度、病院ホームページを大幅リニューアル致しました。モバイル対応や新しく「休診情報」などコンテンツの追加を行っております。今後も皆様のお役に立つ情報を掲載していくまでの是非ご覧ください。

まだまだ昼夜の寒暖差がある時節となりますので、体調を崩されませんようお気を付け下さい。

(M・S)



社会医療法人 北榆会 札幌北榆病院

### 診療科目

外科・肛門外科・消化器外科・腎臓移植外科・泌尿器科・内科・血液内科・消化器内科・腎臓内科・糖尿病代謝内科・循環器内科・小児思春期科・整形外科・麻酔科・放射線科・歯科

住 所 札幌市白石区東札幌6条6丁目5番1号

TEL: (011) 865-0111 FAX: (011) 865-9634

交 通 地下鉄白石駅5番出口から環状通り 北の方へ徒歩5分左手

ホームページ <https://www.hokuyu-aoth.org/>

